

ミニカー走らせ 路面の違い学ぶ

NIPPO、山形市の
中学生招き体験学習

NIPPOが東京都中央区の本社に山形市の中学生を招き、職場体験学習を行った。修学旅行で東京を訪れた山形市立第九中学校の3年生5人が、修学旅行の判別学習の一環として参加。中学生は座学で舗装について学んだり、路面の違い



いがミニカーの走行距離に影響を与える実験をしたりして道路舗装の仕事への理解を深めた。

職場体験学習は5月12日に実施した。中学生は技術企画室の担当者による同社の概要説明や舗装の基礎講座を受けた後、舗装の性能を実感できる実験に挑戦。路面の違いによってミニカーの走行距離が変わることを調べる実験や、アスファルトを実際に手で伸ばす体験をした。舗装工事現場や

試験所に勤務する社員による仕事内容や仕事の楽しさ、やりがいの紹介にも耳を傾けた。

体験学習後、生徒は「高温の材料で道路をつくっていることに驚いた」「道路の会社なのにテニスコートや競輪場をつくっていることは知らなかった」など感想を話した。同社は職場体験などの活動を通して、建設業の次代を担う人材の育成に取り組んでいる。

日刊建設通信新聞 2026年6月26日掲載

(日刊建設通信新聞社 掲載許諾済み)

中学生に仕事紹介

NIPPPO

NIPPPOは、東京都中央区の本社で職場体験学習会を開いた。修学旅行中の山形市立第九中学校の3年生5人が参加した。アスファルトを手で伸ばすなどして、楽しみながら舗装技術の基礎を学んだ生徒は「高温の材料で道路をつくっていることに驚いた」と感想を話した。
